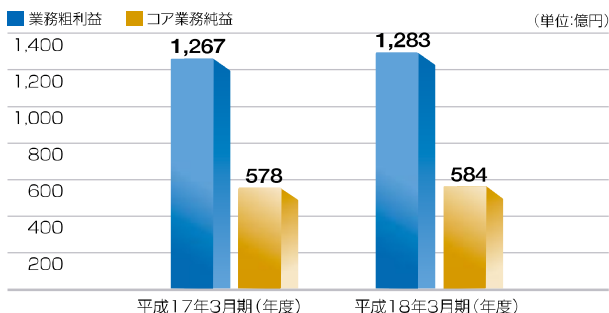
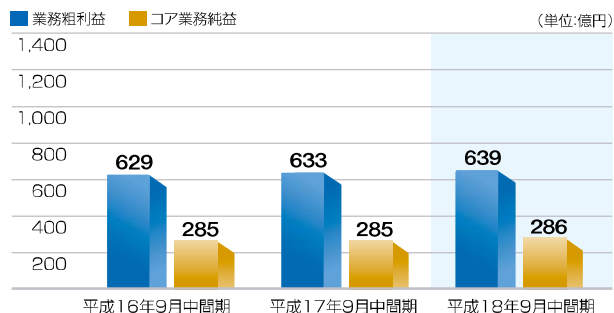


損益の状況

■業務粗利益・コア業務純益

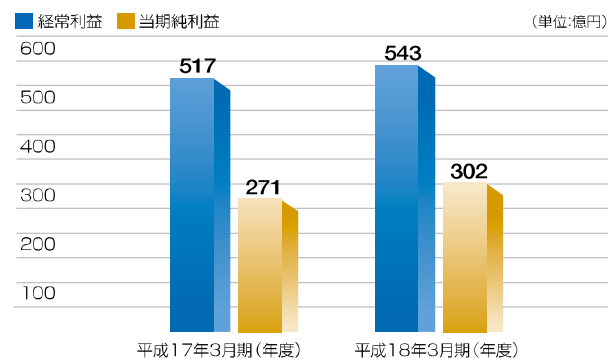
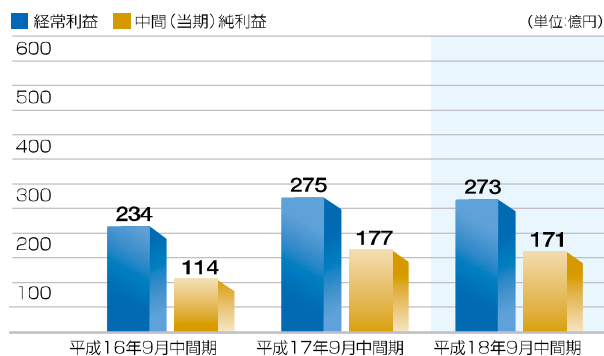
平成18年度中間期の「業務粗利益」は、国際資金利益の減少を国内資金利益と非資金利益の増加でカバーし、前年同期比6億円増加し639億円となり、3年連続で過去最高益を更新しました。

また、銀行本来の業務から得られる利益を表す「コア業務純益」も、前年同期比で僅かながら増加し286億円となり、5年連続で過去最高益を更新しました。



■経常利益・中間（当期）純利益

平成18年度中間期は、信用コストが▲23億円の戻り益となったことから、「経常利益」は273億円、「中間純利益」は171億円となり、ともに退職給付制度変更益を計上した前年に次ぐ高水準となりました。



【参考】銀行の決算について

- 業務粗利益とは 銀行本来の業務での「収益」と「費用」の差額で、経費控除前の粗利益のことです。
- 資金利益とは 貸出金や有価証券の利息収入などから、預金の支払利息などを差し引いた利益のことです。
- ⁽⁴⁻⁵⁾役務取引等利益とは 役務とはサービスのことで、主に手数料による利益のことです。
- 特定取引利益とは デリバティブ取引等短期的なトレーディング取引に関わる利益のことです。
- その他業務利益とは 銀行本来の業務のうち「資金利益」「役務取引等利益」「特定取引利益（ディーリング益等）」以外の業務で得た利益のことです。
- コア業務純益とは 預貸金業務による資金利益や為替業務による手数料利益などから経費を差し引いたもので、銀行本来の業務から得られる利益を示したものです。 $(式) \text{コア業務純益} = \text{業務純益} - \text{一般貸倒引当金繰入} - \text{国債等債券損益}$
- 中間（当期）純利益とは 経常利益から税金などを差し引いた最終的な利益のことです。